FMトランスミッターSPC　取り扱い説明書

このたびは、本製品をお買い求めいただき、ありがとうございます。取り扱い説明書を最後までお読みの上、ご使用ください。また、お読みになった後もこの取り扱い説明書を大切に保管してください。

使用上の注意

●必ずお車を安全な場所に停車してから、機器の接続を行ってください。
●受信感度が悪くノイズが入る場合には周波数を変えてください。
●ラジオ受信用のポールアンテナが付いているお車では、アンテナを伸ばした状態でご使用ください。車種によりラジオアンテナの位置が違いますのでアンテナの位置を確認の上、受信感度の良い位置でご使用ください。ラジオアンテナはリアウインドウやサイドウインドウのプリントタイプやルーフ上に付いているタイプ等があります。
●FMラジオ放送の干渉ノイズや混信によるノイズを避ける為に、ご使用になる地域のFMラジオの周波数から0.2MHz以上離れた周波数でご使用ください。
●接続機器のイコライザー機能、低音/高温調整、ラウドネスコントロール等の音質調整により、再生音質が大きく変化する場合があります。適度に調整してご使用ください。
●本製品と接続する機器でFMトランスミッターが内蔵されている機種の場合には、それらの機器のFMトランスミッター出力をオフにしてください。
●車内に本製品以外のFM発信可能な機器がある場合には、電波の干渉によるノイズを避ける為に、その機器のFMトランスミッター出力をオフにしてください。
●車内で本製品以外の機器でFMトランスミッター出力を行う場合には、電波の干渉によるノイズを避ける為に、本製品の電源をオフにしてください。
●iPod/iPhoneと接続する際には、Dockコネクタの差し込み口の向きを確認した上で接続を行ってください。また、コネクタを抜く際にはコネクタ及び差し込み口の破損を防ぐ為、ゆっくりと引き抜いてください。
●本製品をご使用中に万が一、iPod本体の故障や収録データの消去、またはバッテリーパックの破損等が発生した場合、当社では一切その責任・保証は負いかねます。
●コードは強く引っ張らないようにしてください。プラグを抜く場合もコードを持って引き抜かないようにしてください。プラグの破損やコード内部での断線、接触不良の原因となります。
●コード部分は結ばないようにしてください。コード内部の断線や接触不良の原因、またノイズの発生原因になります。
●本製品は日本国内専用です。海外でご使用した場合にその国の法律に抵触し、罰せられる場合もあります。

お取り付け・ご使用の前に必ずお読みください

警告・注意事項を良くお読みの上、正しくご使用ください。誤ったご使用は死亡事故などの原因となります。

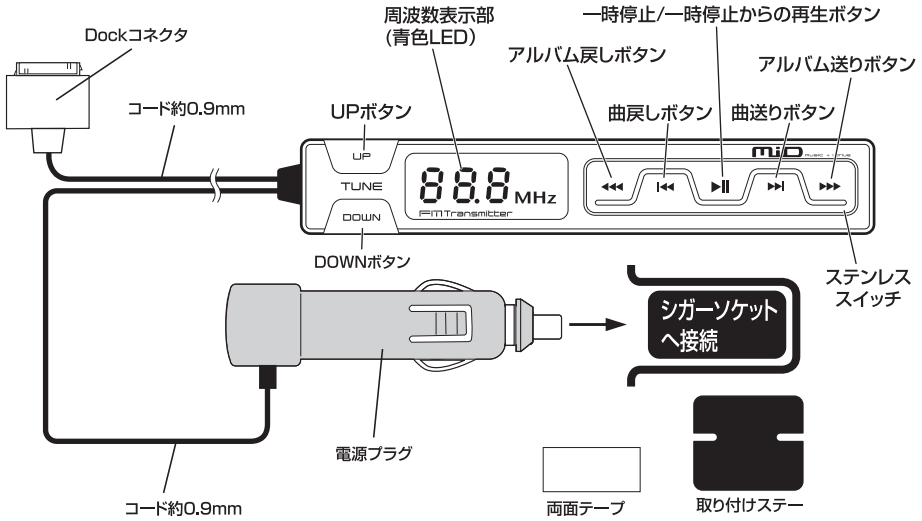
⚠警告

●運転者が運転中に本製品の操作や接続した各機器の操作を行うのは大変危険ですのでおやめください。
●本製品を運転操作や視界の妨げ、エアバッグ付近或いはエアバッグ作動の妨げになる場所への取付け、ご使用、放置はおやめください。
●本製品は自動車用です。シガーソケット電源以外でのご使用はおやめください。本製品及び各接続機器の故障・破損の原因になります。
●本製品をダッシュボードやエアコン吹き出し口など、直射日光のあたる場所や高温になる場所での取り付け、ご使用、放置及び火気に近づけないようにしてください。本製品及び各接続機器の故障、破損の原因になります。
●本製品の分解、改造、加工はおやめください。各接続機器の故障・破損の原因になります。これらが起因する各接続機器のトラブルに関して、当社は責任を負いかねます。
●本製品の破損、故障、変形、コードの断線等不具合がある場合には、ご使用をおやめください。
●本製品にたたきつけるような強いショックを与えないでください。本製品の故障、破損の原因になります。
●濡れた手でのご使用や、水気及びホコリが付着したままのご使用は本製品並びに各接続機器の故障、破損の原因になります。

⚠注意

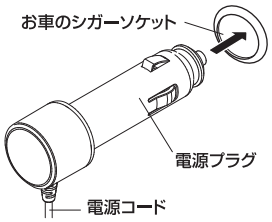
●本製品はDC12/DC24Vマイナスアース車専用品です。
●本製品は、無線局の免許を必要としない微弱電波を使用した製品です。アンテナの種類や形状/設置環境（車の場合、車種およびアンテナが設置されている場所）/周囲環境（車の場合、走行環境を含む）/混信などにより、本製品から出力されたFM電波をFMカーステレオなどが正常に受信できない状態になることがあります。その場合、ノイズ/音のひずみ/音の途切れ/受信不能状態などが発生する場合があります。
●本製品は日本国内仕様です。海外でFMトランスミッター機能を使用した場合、その国の法律などに抵触するおそれがありますので、ご使用にならないでください。
●本製品は微弱電波、FM放送などの電波を妨害しないように極めて低い出力で電波を送信しますので、近くのFMラジオでしか聞くことはできません。
●カーラジオは車種により、アンテナの位置が異なります。車の取扱説明書や、ディーラーにお問い合わせいただき、アンテナの位置を確認してください。
●本製品を使用中にFMトランスミッター内蔵のテレビやカーナビを同時にご使用すると、カーステレオからの音声にノイズが入る場合があります。その際にはテレビ内蔵のトランスミッターをOFFにしてからご使用ください。
●モノラル音声（ポータブルプレイヤー等）はステレオ音声にはなりません。
●本製品をご使用する時には、車のバッテリー保護のために必ずエンジンをかけた状態で使用してください。
●キーを抜いても、シガーソケットの電源がオフにならない車種は、バッテリー上がりのおそれがありますので、降車時に本製品をシガーソケットから抜いてください。
●シガーソケット接続時には、本製品を奥まで差し込まれていることをご確認ください。また、走行中の振動により、本製品が外れる場合がありますご注意ください。
●本製品内部のヒューズが破損した時には、車のヒューズボックスにある全てのヒューズに破損がないかを確認してください。また、車の機能（ヘッドライト、空冷ファンなど）に支障がないことを確認してください。
●煙が出る・焦げくさい臭いがする等、異常の兆候が見られる時は直ちにご使用をおやめください。
●プラグに指定外の端子や金属を接触させたり、水気やホコリを付着させないでください。
●本製品のご使用中によるメモリーダイヤルやデータの消失や破損、通信不能等の付随的保証は一切負いかねます。
●コードが細い為、乱暴にあつかわないでください。断線する場合があります。
●設置場所や気象条件によって、音質が悪くなる場合があります。
●設置場所により、車両や接続機器からのノイズが入ることがあります。その際には、本製品の設置場所を変更してご使用ください。
●台紙の警告、注意に従わずご使用された場合、誤ったご使用をされた際等の事故破損等につきましては、当社では一切その責任は負いかねます。

各部名称



取り付け方法

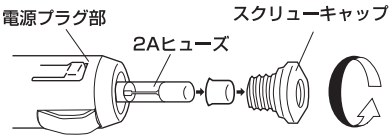
1 電源プラグ部の接続について



●想定している本体の設置場所から、電源プラグまでのコードの取り回しを確認し、設置を行ってください
●お車のシガーソケット内のゴミ、灰等を良く取り除いてください。汚れたまま電源プラグを差し込むと接触不良の原因になります。
●お車のエンジンをかけ、電源プラグをシガーソケットに差し込んでください。振動等で抜け落ちる事の無いよう、奥までしっかり差し込んでください。通電しますと、パネルの周波数表示部とステンレススイッチのLEDが点灯します。
●電源プラグを抜く際は、シガーソケットに対し必ず水平にゆっくり抜いてください。回転させたり、斜めして、無理に抜くと破損の原因になります。

ヒューズ交換について

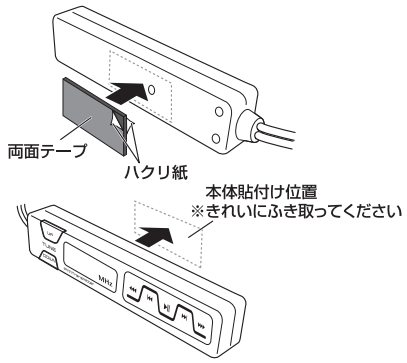
●本製品の電源が入らない場合は、内蔵のヒューズが切れている可能性があります。電源プラグ部に2Aヒューズが入っていますので、キャップを外してヒューズをご確認頂き、ヒューズ切れの場合には市販の新しいヒューズに交換してください。
※安全の為、電源プラグの中に2A250Vヒューズが入っております。
※ヒューズ交換の際には、必ず2Aヒューズをご使用ください。



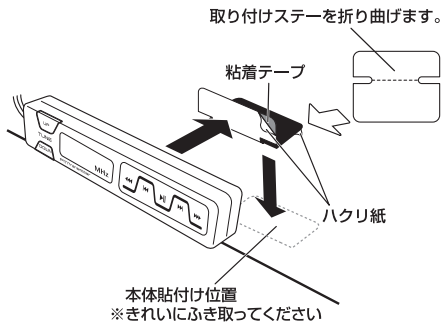
2 トランスミッター本体の設置

●本体取り付けには、**「両面テープで貼り付け方法」**と**「取り付けステーでの貼り付け方法」**の2種類ございます。
●電源プラグからのコードを、運転操作の妨げにならないように配線してください。
●あらかじめ、お車の取り付け場所の汚れを、中性洗剤等を用いて落としてください。取り付け場所が乾燥した後、以下の手順でお取り付けください。
●ハクリ紙を剥がして、しっかりと貼り付けてください。
※取り付けは車内温度が低い状態で行ってください。
※本体取り付け後は粘着テープの粘着力を得るため、24時間は負荷をかけないでください。また、貼り直しは粘着力が低下しますのでお避けください。

両面テープでの貼り付け方法



取り付けステーでの貼り付け方法



使用方法

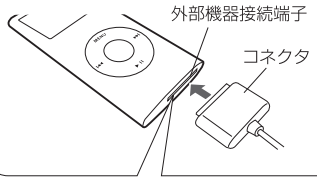
3 iPodとの接続

●iPodのDockコネクタ端子に、本製品から出ているDockコネクタをしっかりと差し込みます。

※iPodの電池の劣化により、充電が出来ない場合があります。
※iPhone3Gに接続した際「このアクセサリーはiPhoneでは動作しません。」と表示が出ますが、問題なくご使用できます。
※iPhone3G・touchでご使用の場合、電池が空の状態では充電ができません。

⚠ 取り扱い注意

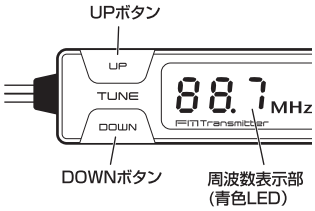
※お手持ちのiPodの差し込み方向を確認してください。抵抗感なくスムーズに差し込みが行え、末端で「カチッ」とロックされる方向が正しい差し込み方向です。



※コネクタを無理やり差し込み、引き抜くような取り扱いはお止めください。登録したメモリーやiPod本体が破損する原因になります。

4 チャンネルの設定

●電源プラグをシガーソケットに差し込んだ状態でお車のエンジンをかけて、周波数表示部が点灯している状態にします。周波数表示部に現在設定されている周波数が表示されます。
●本製品の本体にある「UP」「DOWN」ボタンを押して、使用する周波数を設定してください。その際、ご使用になる地域のＦＭ局との干渉を避ける為、既存のＦＭ局の周波数より±0.2MHz以上離した周波数を設定してください。
※本製品の送信周波数は、76.0MHzから90.0MHzの間で、0.1MHz刻みで細かく設定可能です。
●カーオーディオのＦＭラジオチューナーを、本製品で設定した周波数に合わせてください。



※カーオーディオで、使用する受信チャンネルをメモリーしておけば、次回以降使用する際に便利です。(ラストチャンネルメモリー機能)
●接続した機器の電源を入れて、音楽を再生してください。
●本製品を接続して再生を行っている場合、iPodでの音量の調節は出来ません。ご使用になるＦＭラジオ(カーオーディオ)のボリュームにて音量を調節してください。

5 音楽の停止と再生(オートON/OFF機能)

●車のキーをＯＦＦにすると周波数表示部が消灯し、接続したiPodの音楽再生も停止します。(オートOFF機能)
※ビデオの再生時でもオートOFF機能は作動します。
※キーを抜いても、周波数表示部の電源がオフにならない車種は、バッテリー上がりのおそれもありますので、降車時に本製品をシガーソケットから抜いてください。
●車のキーをＯＦＦからONにすると、(カープラグからの電源供給が開始されると)本製品の周波数表示部が点灯し、オートON機能により接続したiPodの音楽再生も自動的にスタートします。
※iPodが音楽再生の場合にのみ自動的にスタートします。ビデオ再生で使用していた場合には、メニュー画面に戻り起動します。
◎本製品がONになった場合、前回ご使用していた周波数で起動します。(ラストチャンネルメモリー機能)

6 ステンレススイッチの使用方法

■接続したiPodの一時停止、一時停止からの再生、曲送り、曲戻し、アルバム送り、アルバム戻しをコントロールできます。
※パソコンのiTunesであらかじめアルバムを複数入れた「プレイリスト」を作ってiPhoneに同期させ、そのプレイリストを選択して再生した時のみアルバム送り/戻しが動作可能となります。